

S O K A  
M O N O  
Z U K U R I  
B R A N D



**Soka Monozukuri Brand**

草加モノづくりブランド認定製品・認定技術・認定食品

2021.3 発行



SOKAMONOUZUKURIBRAND

草加モノづくりブランド認定製品・認定技術・認定食品

2020



食品  
認定



食品  
認定



技術  
認定



2019



技術  
認定



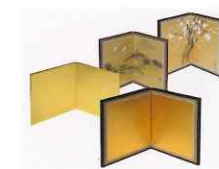
技術  
認定



2018



2017





S O K A

M O N O

Z U K U R I

B R A N D

Contents

- あいさつ . . . . . 1~2
- 認定食品紹介 . . . . . 3~4
- 認定技術紹介 . . . . . 5~7
- 認定製品紹介 . . . . . 8~25
- 草加モノづくりブランド認定製品・認定技術・認定食品紹介MAP . 26~28
- 「草加モノづくりブランド」とは? . . . . . 29



## “草加の誇れる製品・技術・食品”を世界に発信

草加モノづくりブランド実行委員会 委員長 野崎 友義

草加モノづくりブランドは、埼玉県内有数の工業都市である草加市で開発または製造された優れた特徴のある製品・技術を認定し、その販路開拓・拡大の支援と草加のものづくりパワーを国内外に情報発信することを目的として平成18年にスタートしました。

今年で15年目を迎える本認定事業は、回を重ねるごとに多岐にわたる分野の企業から申請があり、市内で生産される製品の高い技術力や発想力に毎年驚かされます。

当初は製品認定でスタートした事業でしたが、令和元年度からは“技術力の高さ”にも注目し、新たに技術認定を加えました。また令和2年度からは、特徴ある優れた食品を認定する食品認定を創設し、認定を製品認定・技術認定・食品認定の3部門に拡大し、草加モノづくりブランドはさらなる成長を続けてまいります。

新型コロナウイルス感染症の世界的拡大は、私たちの生活様式を変えたばかりか、経済活動にも大きな影響を及ぼしています。その中であって、市内企業は新たな製品や技術の開発を行い、危機を乗り越えるべく経営努力をされています。当実行委員会では、草加の優れた製品や技術・食品を幅広くPRし草加のブランド力向上を図ってまいります。この冊子を通じて一人でも多くの皆様に草加の企業の優れたモノづくりに関心を持っていただければと期待しております。

今後も、市内中小企業の振興と地域経済の活性化に向けて全力で取り組んで参りますので、ご理解ご協力を賜りますようお願いいたします。



## 「ものづくりのまち草加」を発信

草加市長 浅井 昌志

草加市では、「第四次草加市総合振興計画」におきまして、「ものづくりを大切にする、居住と生産が共存する産業のまち」を目指して、市内事業所の生産技術の改善並びに向上のためブランド化の促進に力を入れております。

このたびの新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、市内事業者を取り巻く状況は大変厳しく、幅広い業種に深刻な影響が及んでおり、この様な状況においてこそ、社会・経済変革に対応しながら、優れた製品や技術の独自性、先進性、信頼性、将来性を強力に発信し、事業者販売促進や販路拡大を支援していく取組が重要であると考えております。

また、令和2年度からは、市内事業者の方が製造する優れた食品そのものをブランド認定する「食品部門」が新たに創設されました。この「食品部門」の創設により、これまでの製品部門・技術部門の2本の柱に加え、3本の柱として本市が誇る製造業の皆様の高い技術や製造にかける熱い思いを、余すことなく、市内外問わずさらに強力に発信出来ることと確信しております。

市内事業者の皆様は、まさに地域経済活性化の担い手であり、「快適都市-草加-」の実現に向けて大きな役割を果たしていただいております。本市といたしましても、引き続き世界に誇る草加のモノづくりの技術を発信してまいりますので、市内事業者の皆様におかれましても、本事業を活用して、自社ブランドの確立と販路拡大に役立てていただけることを期待しております。



SOKA MONOZUKURI BRAND

草加モノづくりブランド

認定技術



—技術の認定とは—

優れた製品の裏には、作り手の優れた技術が隠れています。  
草加モノづくりブランドでは、草加市内の企業が誇る  
高い技術力をご紹介します。

2020

## QBF工法

クォーター バック プレッシュャー フォーヂン  
Quarter Back pressure Forging



・金型設計技術とプレス加工技術を生かし、板鍛造と深絞り加工を組み合わせた独自の技術。切削加工でしかできないと考えられている±10μm程度の高精度加工ができる工法で、近年の部品の高精度化、高機能化に対応しています。



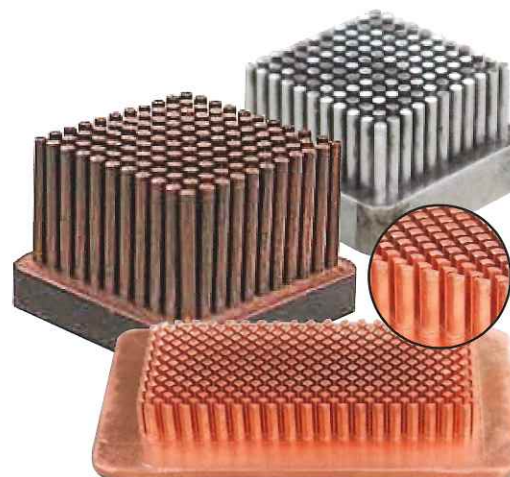
製造事業所 株式会社エムアイ精巧  
代表者名 宮田 和久  
所在地 草加市松江6-9-12  
電話 048-936-2010  
HPアドレス <https://mi-seiko.com/>  
業種 金属プレス加工

2019

## サーボプレスを用いた銅・アルミニウムの放熱板 (ヒートシンク) の製造技術



・電気を使用するほとんどの機器に組み込まれているヒートシンク。  
・鍛造技術と加圧制御できるサーボプレスを用いて、最小工程・短サイクルタイムで複雑な形状を持つヒートシンクの生産を可能としました。  
・低コストで高品質のヒートシンクを世に出すことで、組み込む機器全体の耐久性や機能性を向上させる効果が期待されます。



製造事業所 株式会社塚本製作所  
代表者名 塚本 博文  
所在地 草加市松原4-7-32  
電話 048-941-7688  
HPアドレス <https://www.tsukamotoseisakusyo.jp/>  
業種 非鉄金属鍛造加工業